

一般財団法人 大阪府男女共同参画推進財団 中期経営プラン（概要版）

～明るく元気な大阪のために／すべての人が生きやすい男女共同参画社会づくりのために～

平成24（2012）年6月

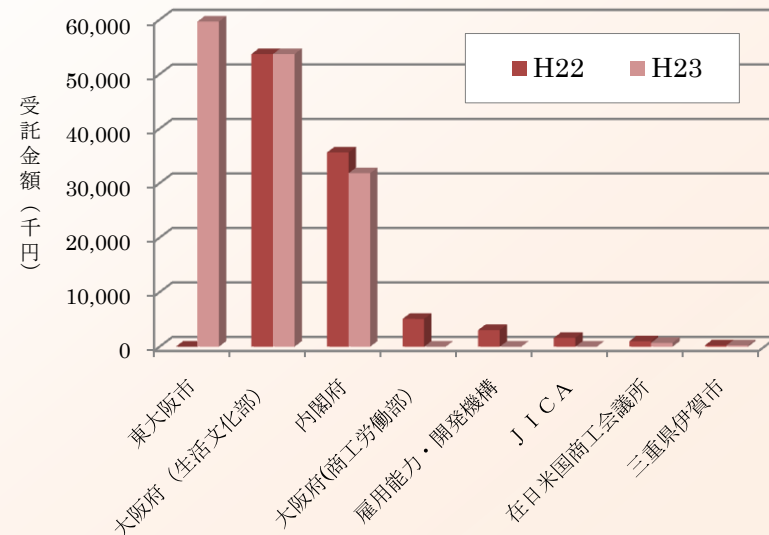
プランの骨格

- プランの期間
平成24年度～平成27年度
- ミッション
男女共同参画社会の実現のために広く社会に必要とされる非営利法人として維持継続
- 当面の運営目標
 - パイロット事業の実施
 - 男女参画施設機能の向上
 - 幹部・職員の育成
 - 財政基盤の安定へファンディング事業に着手
- 主な成果目標
 - [事業効果]
 - 講座満足度 5ポイント増
 - HPアクセス 3万件増
 - [施設機能向上]
 - ドーンセンター利用率 5ポイント増
 - イコーラム利用者数9,000人増
 - [人材育成]
 - プロパー職員増強
 - [経営基盤]
 - 公的受託率7割以上
 - 賛助会費 900千円増
- 長期目標
 - 正味財産額の維持・増加
 - 公益法人移行の可否を検討
- 主な留意点
 - 男女共同参画をめぐる社会動向、行政施策の変化
 - 「大阪府・市統合」の動向
 - 次期指定管理業務・事業提案プロポーザルの公募
 - 財団設立・ドーンセンター開館20周年（平成26年度）

財団の歩み



【自立化後の公的受託実績】



男女共同参画の現状と課題

- 国「第3次男女共同参画基本計画」の強調点
 - ①女性の活躍による経済社会の活性化
 - ②男性、子どもにとっての男女共同参画
 - ③様々な困難な状況に置かれている人々への対応
 - ④女性に対するあらゆる暴力の根絶
 - ⑤地域における身近な男女共同参画の推進
- 大阪府「おおさか男女共同参画プラン」の基本方向
 - ①男女共同参画による社会の活性化
 - ②仕事と生活の調和の推進
 - ③セーフティネットの充実
 - ④女性も男性もだれもが共感できる男女共同参画
 - ⇒男女共同参画の必要性を強調
 - ⇒新たなテーマ 防災分野での男女共同参画
 - ⑤地域力アップへの支援

運営にあたっての課題

- ◇男女共同参画理念の継承
- ◇パイロット事業の実施
- ◇社会と時代の変動やニーズを的確に把握した課題解決型の事業展開
- ◇事業ノウハウ、ネットワークの継承・拡充
- ◇多様な団体、機関との連携・協働の推進
- ◇積極的な情報発信による財団認知度の向上
- ◇男女共同参画のモデル職場づくり
- ◇幹部・職員の育成
- ◇財政基盤の安定化

財団運営の基本方針

- 基本理念・目的
「男女の自立並びにあらゆる分野への対等な参加及び参画を促進する事業を行い、もって男女共同参画社会の実現に寄与する」ことを目的とし、社会的・経済的な男女格差の是正、女性のエンパワメントのための専門的で総合的な支援機能を果たしていく。
- 運営のコンセプト「3つのC」
Continue: 男女共同参画理念の <継承>
Collaborate: さまざまな団体、機関との <協働>
Change: 男女共同参画を阻む社会慣行や制度の <変革>
- 運営の方向
事業レベルと職員の専門性の維持、向上／政策提言機能の付加／事業受託先の拡充と連携・協働相手の多様化／理事会機能の強化と運営自己評価の実施／情報発信と開かれた運営

事業のあり方

- 基本方針
 - 財団の特性、強みを活かす
 - 財団ならではのパイロット事業の実施
 - 課題解決につながる事業展開
- スローガン
【地域の視点】明るく元気な大阪のために
【総合的視点】女性も男性も、子どもも高齢者も、すべての人が生きやすい男女共同参画社会づくりのために
- 重点テーマ
 - 女性の経済的・社会的エンパワメント
 - ダイバーシティ（多様性）の尊重
 - 次世代の育成
 - 防災分野における男女共同参画の推進

組織体制のあり方

- ◇理事会機能の強化
 - ガバナンス機能強化へ理事の業務担当制を導入
- ◇男女共同参画のモデル職場づくり
 - 短時間勤務制／フレックスタイム制／在宅勤務制導入
- ◇次代へつなぐ幹部・職員の育成
 - プロパー職員を4人+αに増強
- ◇開かれた運営
 - アドバイザー制度の活用
 - 運営自己評価制度の実施

収支の目標

- ◇ファンドレイジング事業の実施
財源の多元化と支援者を増やすため、戦略的なファンドレイジング事業の企画立案に着手（資金獲得につながるパイロット事業の企画／協力者・関係団体とのネットワークづくり／賛助会事業の枠組みづくり）
- ◇収支の適正管理
[収支試算]（単位：千円）

	H24	H25	H26	H27
当期収益	200,862	157,300	158,600	159,900
当期費用	200,287	159,735	160,055	160,055
当期正味財産増減額	575	△2,435	△1,455	155
期末正味財産額	173,406	170,971	169,516	169,361

*平成24年度は当初予算額
*平成24年度予算の人件費は85,960千円（当期費用の42.9%）
*平成25年度以降は、大阪府男女共同参画事業の受託継続を想定
*平成26年度以降は、イコーラム指定管理業務の受託継続を想定

プランの進行管理

